



平成 25 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 大 幸 薬 品 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 柴 田 高
(コード番号：4574 東証第一部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 吉 川 友 貞
(TEL. 06-6382-1135)

第 2 四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 8 月 19 日に公表した平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

(単位：百万円)

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	4,000	1,100	1,110	850	66.98
今回発表予想 (B)	4,240	1,420	1,430	1,110	87.08
増減額 (B - A)	239	319	319	259	
増減率 (%)	6.0	29.0	28.8	30.6	
(ご参考)前期第 2 四半期実績	3,301	548	547	459	35.72

2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間につきましては、引き続き感染管理事業が好調なことから前回発表予想数値を上回る見通しとなりました。

医薬品事業におきましては、主力製品『正露丸』、『セイロガン糖衣 A』を中心として、国内市場向けは前年同期を若干下回るものの、海外市場向けが全体に堅調に推移したことに加えて、円安効果もあり、前回発表予想数値に対して微増する見通しとなりました。

感染管理事業におきましては、春先の中国における鳥インフルエンザ報道を背景とした需要増に加えて、秋口以降に流行する季節性インフルエンザ等の感染症に備える小売店からの受注が例年よりも早まったことから、「クレバリン」シリーズを中心とする一般用製品の売上高が伸長し前回発表予想数値を大きく上回る見通しとなりました。

好調な売上高を背景として売上総利益は増加し、また、販売費の効果的な投下等により販売費及び一般管理費が減少したことから、営業利益以外の各利益項目につきましても、前回発表予想数値を上回って着地する見通しとなりました。

なお、今回発表予想の売上高におけるセグメント別内訳は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント別連結売上高(平成26年3月期第2四半期連結累計期間)

	医薬品事業	感染管理事業	その他事業	売上高合計
前回発表予想 (A)	3,030	957	11	4,000
今回発表予想 (B)	3,038	1,189	11	4,240
増減額 (B-A)	8	232	△0	239
増減率 (%)	0.3	24.2	△4.5	6.0
(ご参考) 前期第2 四半期実績	2,843	446	10	3,301

3. 通期業績予想

通期の業績予想につきましては、今後のインフルエンザ等感染症の発生動向、流通在庫増加による返品リスクの増加、認知度向上を目的とする広告宣伝及び販売促進策の追加実施、本社機能移転に伴う追加コストの発生等、現時点では不確定要素が多いことから平成25年5月13日に公表致しました業績予想から変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上